

熊本市市民病院の再建について

平成29年11月2日

熊本市立熊本市市民病院

市民病院の再建に向けた歩み

Reborn Kumamoto City Hospital

熊本市民病院概要

- 開設 昭和21年2月1日（開院70年）
- 建物 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上8階
- 診療科目 診療科34科
- 病床数 556床（一般病床544床、感染症病床12床）
- 診療実績 入院患者数：年間122,752人 外来患者数：年間164,907人 ※H27年度

熊本地震後の対応

- 平成28年4月14日 前震（317人の被災患者を受入れ）
- 4月16日 本震（入院患者310人転院）
- 28日 外来（再来）診療再開
- 6月1日 病棟被災状況判明（北館、南館使用不可）



総合周産期母子医療センター

H28.5.23 衆議院・参議院災害特別委員会現地視察

H28.5.22 厚生労働省医政局との意見交換

H28.5.14 塩崎厚生労働大臣現地視察

◎H28.5.13 熊本市民病院再建方針表明

●H28.4.16 本震発生

●H28.4.14 前震発生

○H29.4月
新病院設計・施工着手

○H28.9月
病院再建基本計画策定

○H28.8.26 第4回懇談会

◇H28.8.22 調査特別委員会

◇H28.8.5 調査特別委員会

○H28.7.25 第3回懇談会

◇H28.7.22 調査特別委員会

○H28.6.28 第2回懇談会

◇H28.6.23.24 熊本市議会公共施設マネジメント調査特別委員会

（以下、調査特別委員会と表記）

○H28.6.6 第1回熊本市民病院の再建に向けた懇談会

（以下、懇談会と表記）

[熊本市民病院の再建に向けた懇談会委員]

氏名	所属団体等	備考
松田 晋哉	産業医科大学 教授	座長
福田 稠	熊本県医師会 会長	副座長
一二三 倫郎	熊本県公的病院長会 会長	
福島 敬祐	熊本市医師会 会長	
水田 博志	熊本大学医学部附属病院 病院長	
古閑 陽一	熊本県健康福祉部 部長	
高田 明	熊本市民病院 病院事業管理者	

※オブザーバーとして厚生労働省医政局地域医療計画課職員が出席

市民病院の再建に向けた歩み

Reborn Kumamoto City Hospital

熊本市震災復興計画

基本方針

～市民力・地域力・行政力を結集し、安全・安心な熊本の再生と創造～

- 1 避難から復旧、そして、74万市民が総力をあげ明日を見据えた復興へ
- 2 「安全・安心」と「元気・活力」、そして「地域経済」の回復に向けた効果的かつ迅速な市政展開
- 3 市民・地域と行政が協働で支える安全・安心で「上質な生活都市」の創造

復興重点プロジェクト

～政令指定都市にふさわしい明日へのまちづくり～

プロジェクト① 一人ひとりの暮らしを支えるプロジェクト

プロジェクト② 市民の命を守る「熊本市民病院」再生プロジェクト

プロジェクト③ くまもとのシンボル「熊本城」復旧プロジェクト

プロジェクト④ 新たな熊本の経済成長をけん引するプロジェクト

プロジェクト⑤ 震災の記憶を次世代へつなぐプロジェクト

地域医療の中核的な総合病院として、総合周産期母子医療などの政策医療を担ってきた責任と役割の重大さを踏まえ、市民の生命と将来を担う子どもたちの命を守るため、一日も早い再生に取り組みます。

【主な取り組み】

- 総合周産期母子医療を充実し、二次救急医療体制を強化
- 地域医療構想を踏まえた医療体制の構築
- 感染症などに対応する政策医療の提供
- 適切な診療体制の構築

1 市民の生命と健康を守る自治体病院としての役割を發揮します

- 母と子の命を守る周産期医療を充実します。
- 市民の安心安全を24時間確保する二次救急医療体制を強化します。
- 生涯に亘って熊本に住み続ける地域包括ケアシステム確立への貢献に取り組みます。

2 地域医療を支える公立病院としての使命を果たします

- 地域医療構想を踏まえて、今後想定される少子高齢化や将来の医療需要の変化に対応できる医療サービスを提供します。
- 新公立病院改革ガイドラインを踏まえ、公立病院として担うべき医療サービスを提供します。
- 周産期医療や感染症医療などの高度な専門性を有する政策医療を提供します。
- 広域医療への貢献に取り組みます。

3 質の高い医療サービスを持続安定的に提供します

- 適切な診療体制を構築し、質の高い医療サービスを提供します。
- 将来の医療需要を踏まえた病床数の適正化を図り、持続安定的な医療サービスを提供します。
- 適正な人員配置により総人件費の抑制等に努め、経営形態の刷新を図ります。

熊本の周産期医療状況

Reborn Kumamoto City Hospital

	NICU 病床数	GCU 病床数	年間 入院数	ELBW 入院数	小児外科 疾患	先天性 心疾患
熊本市民病院	18	24	352	36	可能	可能
熊本大学付属病院	12	12	202	12	可能	不可
福田病院	18	29	1026	8	一部可能	不可

ELBW:超低出生体重児

熊本市民病院が担っている領域

極低出生体重児の7割

心疾患を有する患児の10割

新生児、小児心臓手術の10割

新生児小児外科の大部分

小児心臓外科手術 約140/年

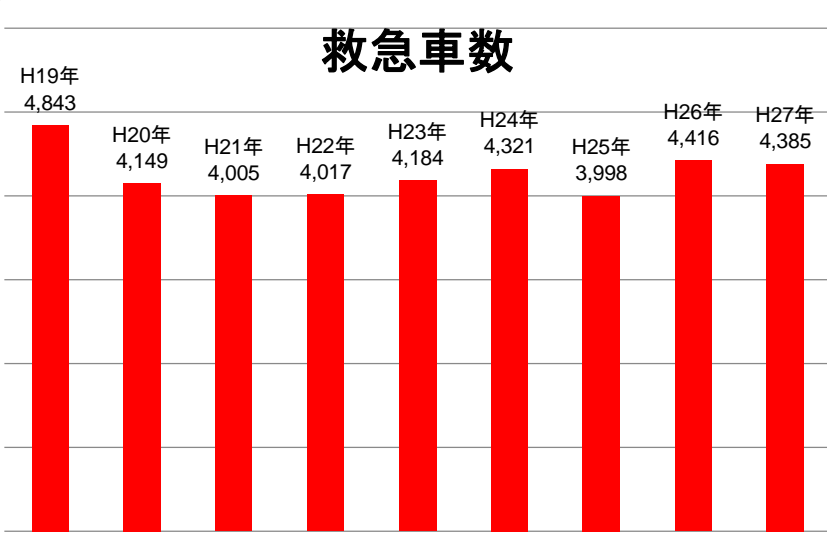
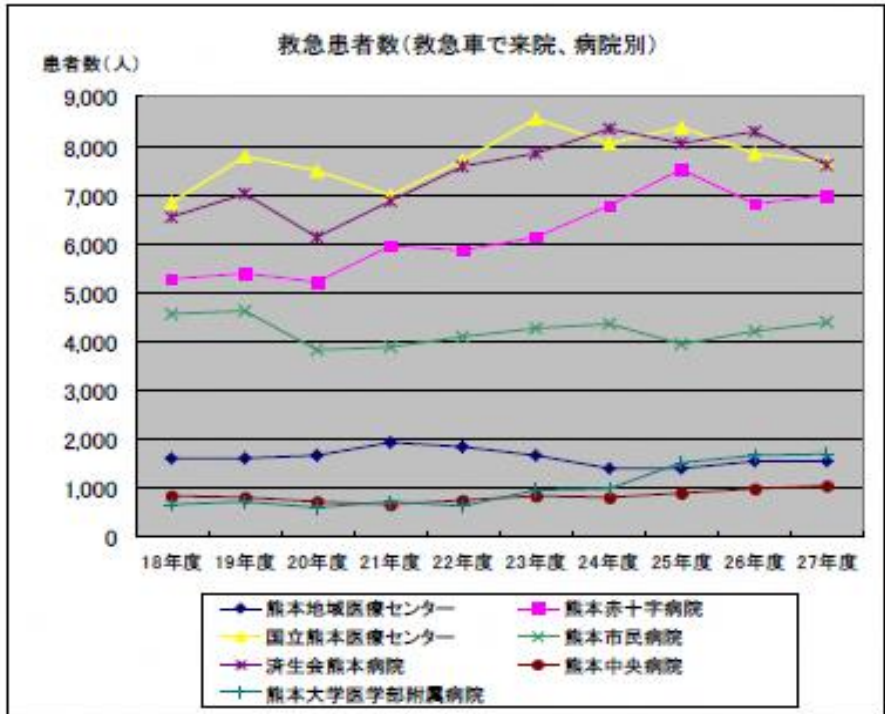
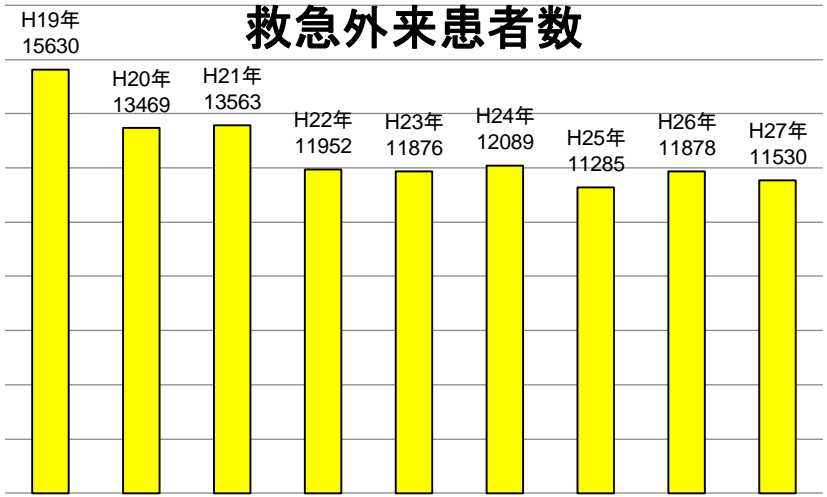
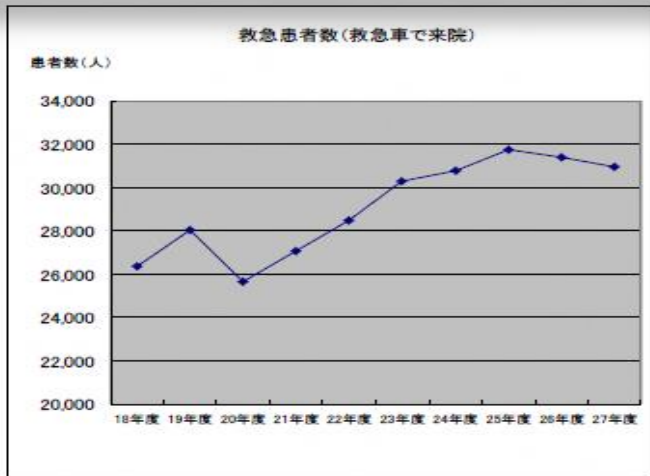
小児心臓カテーテル 約120/年

小児外科手術 約240/年

熊本市の救急医療(2015年度)

Reborn Kumamoto City Hospital

熊本市民病院の救急受け入れ状況



感染症病床

第1種感染症病床 2床 (熊本県下で唯一、熊本市民病院が保有)

※「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第6条第2項に定めのある1類感染症患者に対応する病床。1類感染症は、感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点から見た危険性が極めて高いものであり、エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、マールブルグ病、ラッサ熱等7疾患が指定されている。

第2種感染症病床 6床(予定)

※「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第6条第3項に定めのある2類感染症患者に対応する病床。2類感染症は、感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点から見た危険性が高いものであり、SARS（重症急性呼吸器症候群）等6疾患が指定されている。

病床数

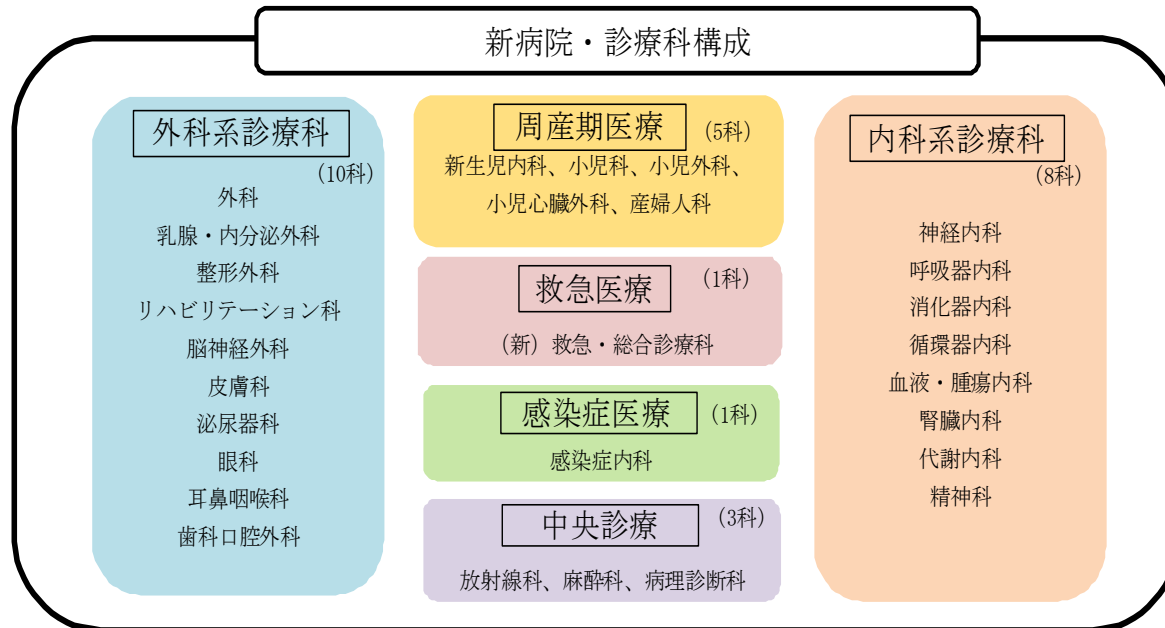
380床(感染症8床除く)

※地域医療構想、新公立病院改革ガイドラインとの整合を図り最適な病床数を設定

診療科

常設診療科 28科

【=(従来)34科+新設科(1)-非常設科(1)-診療科統合(6)】

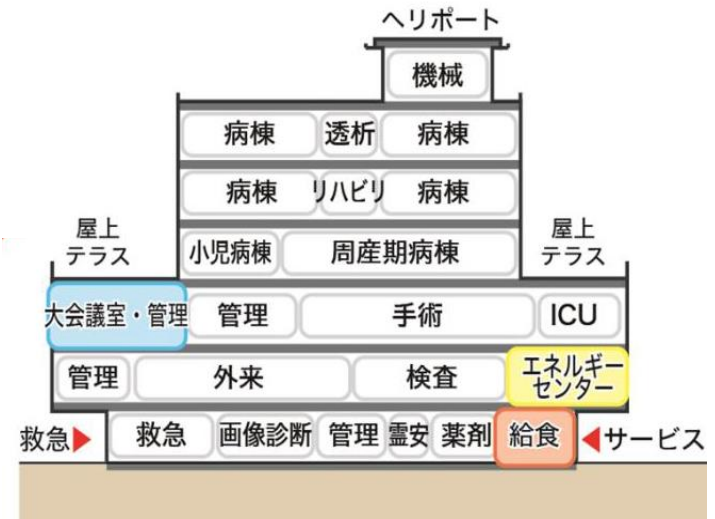


新市民病院の建設概要

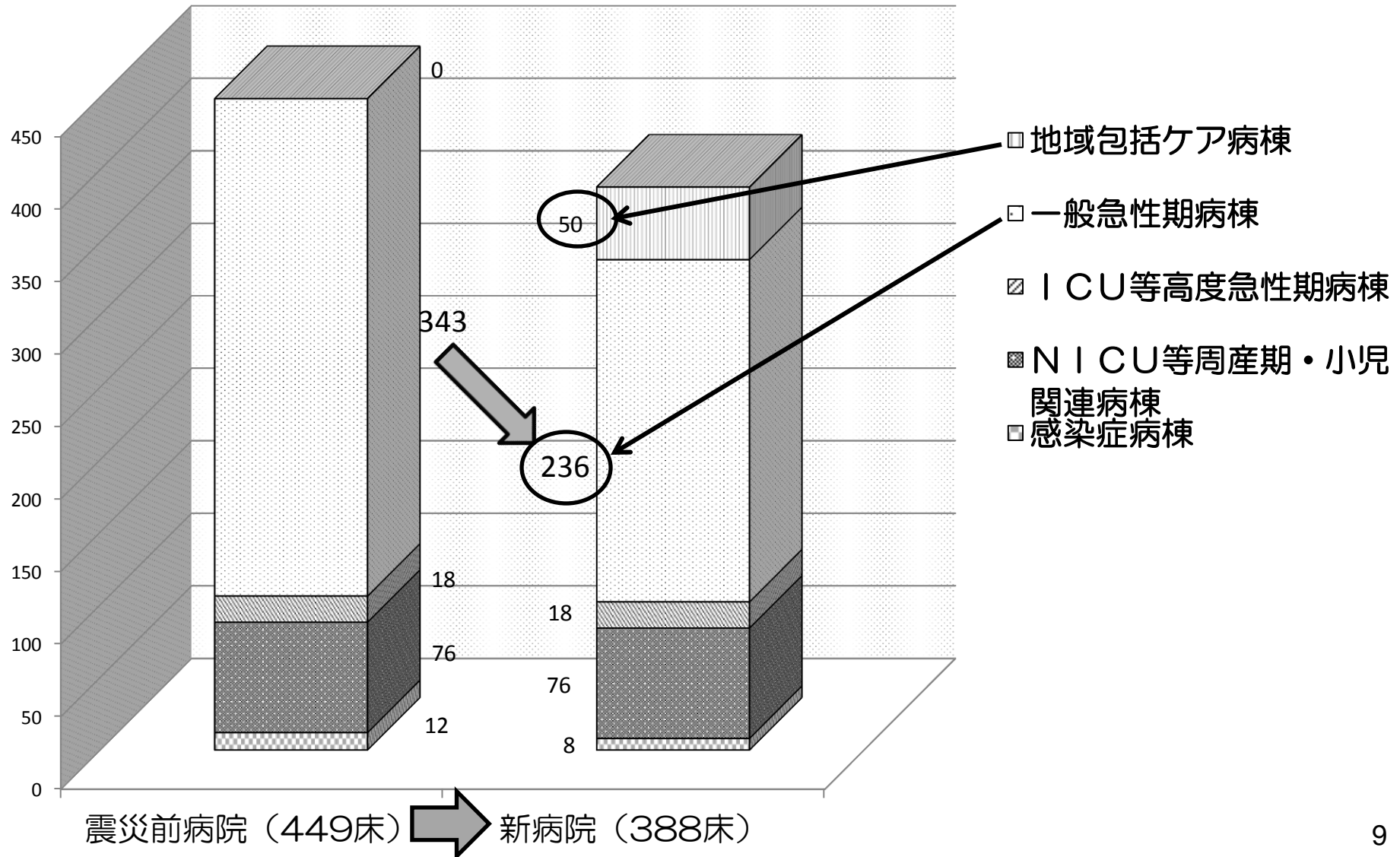
Reborn Kumamoto City Hospital

- 所在地 熊本市東区東町4丁目4番79
- 敷地面積 21,309.34㎡
- 延床面積 35,000㎡程度
- 駐車場台数 370台程度
- 工事業者 大林組・久米設計・産総設計・西松建設
・豊工務店特定建設工事共同企業体
- 契約日 平成29年3月24日
- 工期 平成29年4月1日～平成31年6月30日

区分	経費	概要
用地取得経費	約16億	用地費、移転先解体工事
設計・監理費	約6億	基本・実施設計、工事監理費、既存病院解体設計費
工事費	約162億	本体工事、外構工事、既存病院解体工事
医療機器整備等	約40億	医療機器整備経費、情報システム整備経費
その他事務費	約3億	引越費用など
合計	約227億	



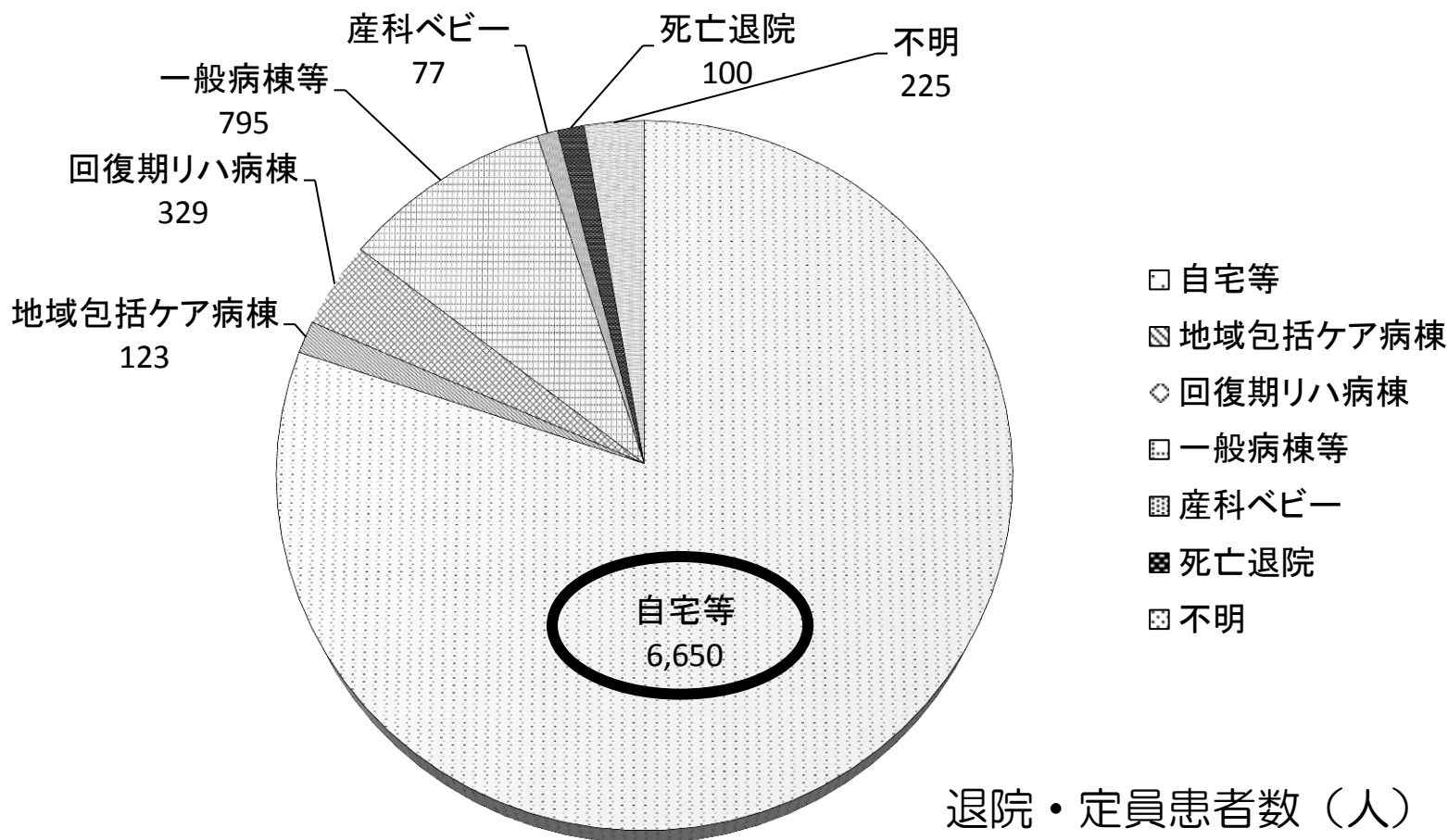
新市民病院の機能別病床数



震災前の退院・転院の状況(2015年4月～2016年2月)

Reborn Kumamoto City Hospital

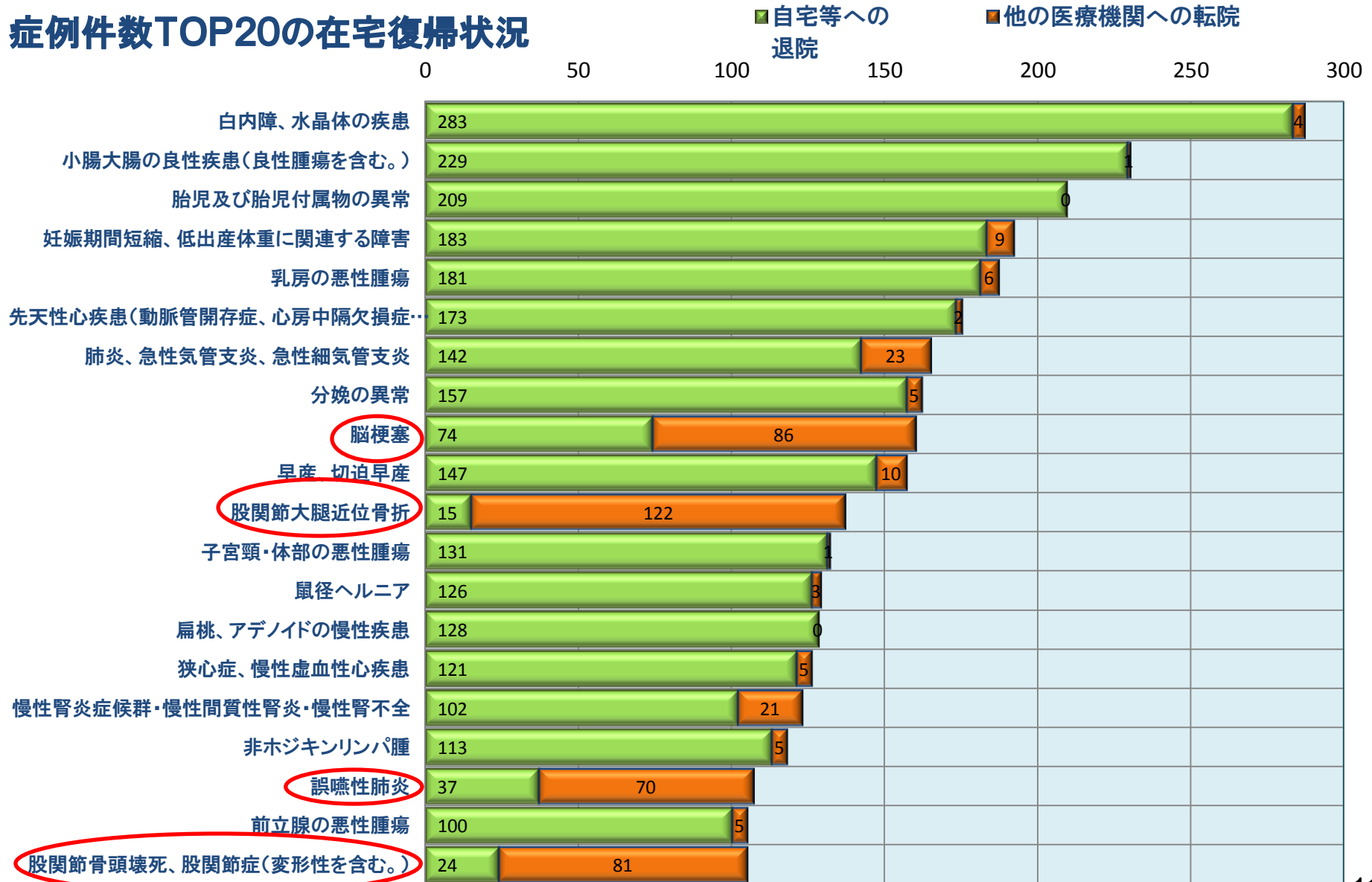
退院転院先種別	自宅等	地域包括ケア病棟	回復期リハ病棟	一般病棟等	産科ベビー	死亡退院	不明	合計
患者数(人)	6,650	123	329	795	77	100	225	8,299
構成比率	80.1%	1.5%	4.0%	9.6%	0.9%	1.2%	2.7%	100.0%



震災前の退院・転院の状況（診断群分類）

Reborn Kumamoto City Hospital

症例件数TOP20の在宅復帰状況



震災前の転院・退院のイメージ

震災前の市民病院

救急



高度急性期
病棟

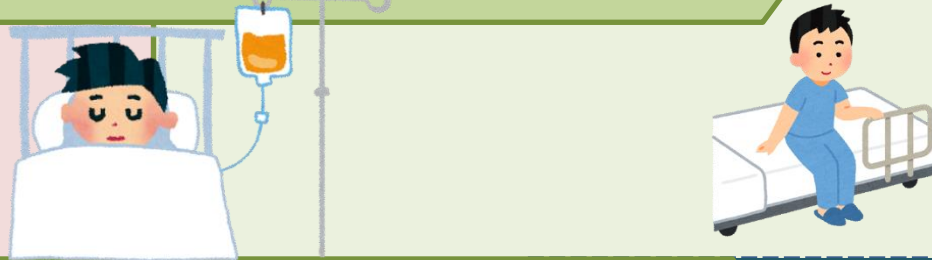
急性期一般病棟

回復期リハ病床
地域包括ケア病床
一般病床

入院

高度急性期及び急性期の期間
(転院後にリハ適用の患者)

転院



紹介



高度急性期及び急性期の期間
(リハ適用なしの患者)

亜急性期
回復期
の期間

退院

在宅等



地域包括ケア病棟運用イメージ

Reborn Kumamoto City Hospital

新市民病院

救急

高度急性期
病棟

急性期一般病棟

回復期リハ病床
地域包括ケア病床
一般病床



高度急性期及び急性期の期間
(転院後にリハ適用の患者)

転院



入院



在宅・療養に向け
よりスムーズな
退院の仕組み作り

亜急性期
回復期など

地域包括
ケア病棟



退院

在宅等



紹介

高度急性期及び急性期の期間
(リハ適用なしの患者)

亜急性期
回復期
の期間



短期滞在
手術

紹介

診療所等からの
土日時間外の受入



在宅療養中に増悪を
繰返し入院の必要



再建に向けたスケジュール

Reborn Kumamoto City Hospital

平成28年12月26日 NICU（9床）、GCU（5床）再開
 平成29年 1月20日 一般病床（10床）再開
 24日 移転先（国家公務員宿舎）解体工事着工
 3月31日 用地取得契約締結（九州財務局）
 4月～ 新病院設計・施工
 平成31年 6月末 新病院竣工（予定）
 平成31年秋頃 新病院開院（予定）

